

進化する長崎の陸の玄関口

(長崎駅周辺)

新・長崎駅舎(在来線・令和2年3月開業)
西口駅前広場(令和3年4月完成)

JR長崎本線(浦上～長崎間)が高架化され、長崎駅の新駅舎(在来線)が開業しました。新駅舎は今までの位置から約150m西側へ移転し、2階のホームからは稲佐山や長崎港が一望できます。光を通しやすい屋根は、日中は明るく駅舎内を照らします。駅舎の前は、くつろげる憩いの場として西口駅前広場が整備され、小規模なイベントなども行うことができます。



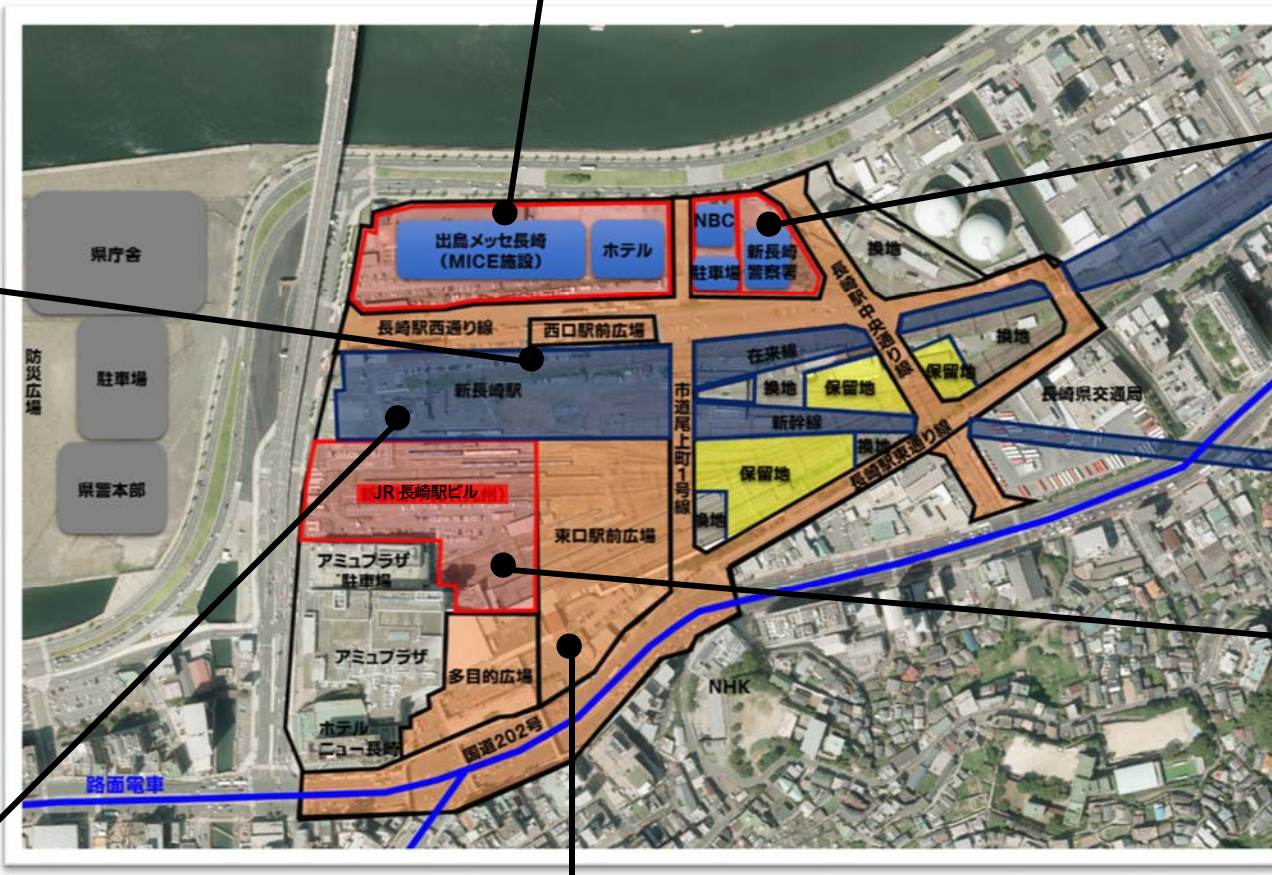
※イメージです。

出島メッセ長崎(令和3年11月開業)

国際会議や学会を行う「コンベンションホール」やイベント・展示などを行う「イベント・展示ホール」、高級ホテルやショップ、サテライトスタジオなどが複合した施設です。国内外からの多くの人を受け入れて、新たなビジネスや文化を生み出していく交流の拠点であり、最先端の情報や技術、文化にふれることができる長崎らしい場所として「現在のDEJIMA」になることが期待されています。



※イメージは変更になる可能性があります。



長崎警察署(令和2年3月開設)

安全安心なまちづくりの拠点として、長崎警察署と稲佐警察署が統合し、新たな警察署が開設されました。長崎運転免許センターが併設され、免許の更新手続きなどを行うことができます。



JR長崎駅ビル(令和5年11月開業) ※「長崎マリオットホテル」は令和6年1月開業

国際観光都市にふさわしいデザインを取り入れ、商業、ホテル、オフィスなどによる複合施設として開業し、長崎の新たなランドマークとなりました。



※イメージは変更になる可能性があります。提供:JR九州

西九州新幹線(長崎～武雄温泉間 令和4年9月開業)

令和4年9月23日に西九州新幹線(長崎～武雄温泉間)が開業しました。全国の新幹線ネットワークにつながること、ヒト・モノ・情報の交流が活発になり、長崎がより一層元気になります。



※イメージは変更になる可能性があります。提供:鉄道・運輸機構

新長崎駅は日本で唯一の新幹線と在来線の両方が乗り入れる終着駅であり、駅舎からは長崎港が一望できるため海との一体感が感じられる明るく開放的な駅舎となっています。



※イメージは変更になる可能性があります。提供:鉄道・運輸機構

東口駅前広場(東口駅前交通広場・多目的広場(令和8年度完成予定))

東口には新たな交通広場や新しい道路が整備され、駅舎へのアクセスが向上します。以前の高架広場の4倍以上の面積となる東口駅前広場は、駅の利用者や長崎を訪れる観光客だけではなく、市民にとってもゆったりとくつろげる憩いの場となるよう整備されます。また、おくんちなどのイベントを開催できる活動の場として楽しむことができます。



※イメージは変更になる可能性があります。

事業名/年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
在来線		→	令和2年3月28日高架化(在来線駅舎開業)					
西口駅前広場		→	令和3年4月完成					
出島メッセ長崎		→	令和3年11月開業					
新幹線		→	令和4年9月23日開業					
JR長崎駅ビル		→			→	令和5年11月10日開業		
東口駅前広場 多目的広場		→						→ 令和8年度完成予定

東(東口側)から
長崎駅周辺をみたイメージ図



※イメージは変更になる可能性があります。